

令和5年5月26日
兵庫県企画部万博推進局

1 SDGs体験型地域プログラムの第二次認定について

認定に当たっての考え方

- ① プレイヤー自身が発信することも重要視しているため、**意欲があるものを幅広く認定。**
 - 意欲が有る限り、県が伴走型で支援を行うことが基本姿勢。
 - 認定基準に未達の項目は、原則、磨き上げで対応。
- ② 支援の内容が定まらないもののみ、**認定を見送る。**
- ③ プログラムの継続や県と協力した取組が困難になった場合には、**認定を取消す可能性あり。**

1. 認定プログラムの構成

(1)基準を満たしたものを、**全て認定する。**

- ①ひょうごフィールドパビリオンの展開趣旨にふさわしいか
 - ア) 各地域に根差したストーリーや稀少性、独自性など
 - イ) 地域や社会の諸課題を解決し、未来志向型の成果を探求
 - ウ) 事業の継続性や地域の持続可能性
- ②プログラムのブラッシュアップや周辺他プログラムとの連携
- ③社会通念上、懸念があるか。

(2)基準を満たしたものを、**プレミアとして選定**
『各地域の風土・文化との親和性』や『事業の持続可能性』から地域の核となるもの

(3)未達の項目があるプログラム

『今後、より地域を豊かにする可能性』が高いと期待できるもの

2. 認定外・対話を継続して再チャレンジ可能

第二次認定のプログラム概要

□ 第二次認定対象プログラム：

令和5年1月～3月までに応募のあった**20件のプログラムのうち**、
辞退した1件を除く**19件を対象**

【第二次認定プログラム】

認定：17件（合計130件）

認定を見送る：
2件

地域別件数

地域	件数
摂津	3(31)
播磨	7(56)
但馬	4(17)
丹波	2(17)
淡路	1(9)

分野別件数

分野	件数
震災復興	0(4)
自然・環境	5(35)
農林水産	2(15)
食	1(13)
経済・地場産業	2(32)
文化・芸術	7(31)

※括弧内は、全認定プログラムの件数。

- 県内に活動がない
- 発信したい内容がない
- 近隣プログラムのオプションが展開に適しているプログラム等

(1)認定プログラム(抜粋)

認定プログラム案（抜粋）

食



世界遺産・姫路城下から里山フィールドへ！「ひめじプレミアムBEER」で乾杯（姫路市）

【発信できるテーマ性】

- 姫路城の安定的な発展を支えてきた**播磨地域の豊かな土壌**。しかし、農業者の高齢化や後継者の不在などにより、**耕作放棄地が増加**してきており、景観を損なうだけでなく、雑草や害虫の発生や災害時の危険性が増加するなど、課題解消に向けた取組が求められている。
- 本プログラムは、姫路地域の**耕作放棄地を活用して**ビールの原料となる**大麦とホップ**を育て、姫路の水を用い、姫路の醸造場で醸造し、**ここだけにしかないオリジナルのクラフトビールを味わうもの**。
- 栽培に当たっては、農薬を使わず、ビール醸造で発生する麦芽かすを堆肥として活用するほか、クラウドファンディングを活用して資金調達を行うなど、**農業の新たな可能性と耕作放棄地を活用した6次産業化の取組を世界に発信する**。

概要：耕作放棄地を活用し、自らが参加し、姫路で育てた大麦と、姫路で育てたホップを活用し、姫路の水を使って、姫路で醸造したビールを味わうプログラム

実施主体：はりまグリーンラボ



▲耕作放棄地を活用し大麦畑



▲ホップの植え付け



▲ビール醸造場



▲クラフトビール醸造工場とお店

認定プログラム案（抜粋）

自然環境



川阪オープンフィールド（丹波篠山市）

【発信できるテーマ性】

- 人口33人の丹波篠山市川阪集落には、**30歳以下が誰一人おらず**、高齢化率が約50%の**限界集落目前**の集落。耕作放棄地も増加し、**獣害被害への対策や集落を維持していくための取組もままならず**、800年以上続く風習や伝統文化の継承にも赤信号がとれる。
- 本プログラムは、**地域外から人材を募り**、農業体験を中心に、耕作放棄地等を活用して、草刈りや獣害対策など**環境管理能力の充実を図るとともに**、集落が持つ魅力や地域資源を発掘する話し合いなどを行い、**関係人口による集落機能の維持と継続を目指すもの**。
- 会員制度に導入や生製品の販売など、**地域外の人材が、継続的に川阪集落に関わり続けていける関係性づくり**に尽力している。

概要：丹波篠山市川阪集落で、2週に1度の頻度で、集落が抱える課題解決のために地域外から人材を募って、支援などを行う活動に参加するプログラム

実施主体：川阪活性化委員会



▲稲作の場所



▲野菜の育成



▲キャンプ広場

認定プログラム案（抜粋）

文化・芸術



江戸初期から続く町割りと港湾施設、古民家を利用した店舗 いつまでもつなぐ歴史と結びのまち高砂（高砂市）

【発信できるテーマ性】

- ・ 慶長6年（1601年）に姫路城主池田輝政が加古川舟運の河口港を開いてから進められてきたまちづくり。高砂市高砂町には、北前船寄港地として栄えた**当時の町割りが残っているだけでなく、現在でも現役の路地や港湾施設として利用されている貴重な地区。**
- ・ 兵庫県歴史的景観形成地区に指定された地域には、江戸時代から昭和時代の町並みが残るとともに、高齢化が進む中でも古民家が空き家とならずに飲食店として活用されるなど、**古さを活かした新しいまちづくりへのチャレンジ**が行われている。
- ・ 本プログラムでは、**国鉄高砂線跡から、夫婦神を祀る高砂神社のある地域まで、古くから維持されてきた町割りを巡り、その中に現在でも生き生きと光る地域力に触れるもの。**

概要：ガイド付きで高砂町の町歩きを行う。町歩きの道中で古民家カフェでの休憩、松右衛門帆布を使用した小物作り等のワークショップを実施

実施主体：(一社)高砂市観光交流ビューロー



▲旧国鉄の分岐跡



▲街区の紹介



▲高砂神社



▲小物製作を体験

認定プログラム案（抜粋）

文化・芸術



兵庫から発信する日本伝統文化の守り人たち、姫路藩主御用能楽師「十二世江崎欽次郎」から「能」を学ぶ（姫路市）

【発信できるテーマ性】

- ・ 室町時代に成立し、600年以上の歴史をもつ「能」は、狂言と源を同じくし、**日本を代表する古典芸能の一つ**であり、武家社会における時の権力者による加護とともに発展してきた。一方で、地方の村々の祭礼の場では「**神事能**」として盛んに演じられるなど、民衆の切なる願いとともに長く演じ継がれてきたものでもある。
- ・ 江戸時代から300年にわたって、姫路を拠点に活動をしてきた江崎家は、代々姫路藩主お抱えの能役者であり、現在は**能楽ワキ方福王流の十二世江崎欽次郎氏**が当主を務める。子ども向けに能を紹介する冊子を作成するなど、**日本の伝統文化の守り人**として、積極的な発信を続けている。
- ・ 本プログラムは、城下町を形成してきた閑静な住宅街の一軒家にある能舞台の練習場を活用して、「**能**」の**ワークショップを実施**。**能楽師の直接指導による能体験**で、姫路で大切にされてきた**日本の思考や価値観を味わうもの**。
- ・ インバウンド向け富裕層を対象に一気通貫型ツアーに仕立てられた、日本型のおもてなしも体験できる。

概要：代々姫路藩主に仕えてきた能楽師が、能や舞台の解説や仕舞の実演、謡と型、能楽器などの参加型の体験プログラムを実施

実施主体：（一社）江崎福王会



▲家の中にある能舞台



▲小鼓の革にサイン



▲能舞台は靴下も禁止

第二次認定プログラム 一覧

第二次認定：17件

	プログラムの名称	実施主体	地域
< 摂津 >			
1	タンサンと湯のまちのルーツさがし	宝塚市	宝塚市
2	夢をさがしに、宝塚 ～手塚治虫のメッセージ～	宝塚市	宝塚市
3	今日の予定...何もしない ～そうでなければ、枝打ちしたニワトコ の木で魔法の杖を作って、魔法使いにナリキル！～	猪名川杉生農園	猪名川町
< 播磨 >			
4	江戸初期から続く町割りと港湾施設、古民家を利用した店舗 いつまでもつなぐ歴史と結びのまち高砂	(一社)高砂市観光交流ビュー ロー	高砂市
5	古代から引き継がれる伝統の技とデザイン	兵庫県立考古博物館	播磨町
6	酒米の王者山田錦を人が紡ぐ、日本酒Breweryに触れる旅	稲見酒造株式会社	三木市
7	あなたの心のふるさと…「奥播磨かかしの里」	ふるさとかかし親の会	姫路市
8	兵庫から発信する日本伝統文化の守り人たち 姫路藩主御用能楽師「十二世江崎欽次郎」から「能」を学ぶ	(一社)江崎福王会	姫路市
9	世界遺産・姫路城下から里山フィールドへ！ 「ひめじプレミアムBEER」で乾杯	はりまグリーンラボ	姫路市
10	県指定 伝統工芸「赤穂緞通」を体験しよう！	NPO 法人赤穂緞通を伝承する会	赤穂市

第二次認定プログラム 一覧

第二次認定：17件

<但馬>

11 選べる新旧 城崎温泉町めぐり	城崎温泉観光協会	豊岡市
12 神鍋高原まるごとアクティビティ体験	日高神鍋観光協会	豊岡市
13 余部鉄橋「空の駅展望施設」観光とお買物	あまるべ振興会	香美町
14 小型船で巡る海の観光遊覧	かすみ海上タクシー事業協同組合	香美町

<丹波>

15 川阪オープンフィールド	川阪活性化委員会	丹波篠山市
16 静かな農村の営み ～丹波篠山暮人になろう～	丹波篠山市東部六地区協議会	丹波篠山市

<淡路>

17 南あわじ市の日本農業遺産を未来につなげよう	サザンバード	南あわじ市
--------------------------	--------	-------